



# 【建設業用/風水害・雪害版】 初めてでも簡単！BCP策定シート

(解説)初めてでも簡単！BCP策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

## 1. 基本方針

風水害・雪害発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

- 社員（役員・従業員）の人命を守る
- 制御できる間に適切に設備等の停止・退避を試み、早期再稼働を図る。
- インフラや民間企業の復旧工事を通じて地域社会の復興に貢献する

## 2. 被害想定

想定する事態	〇〇川氾濫、本社近くの崖で土砂崩れの懸念あり。
想定浸水深	〇〇川が決壊し、ハザードマップの通りとなった場合、2.5m

## 3. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
〇〇〇〇 社長（代行者 ① 〇〇専務、② 〇〇常務）	
本社機能維持担当	従業員の帰宅、安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
総務部 〇〇〇〇 部長（代行者 総務部 〇〇 次長）	
事業継続担当	社内注意喚起、計画的停止準備・実施、水防設備設置等の対応、重要事業の継続に関する実務を指揮する。
建設部 〇〇〇〇 部長（代行者 建設部 〇〇 次長）	

## 4. 重要業務、目標復旧時間

重要業務	インフラ復旧工事・施工中現場の二次災害防止
目標復旧時間	24時間以内 (行政の要請による)

## 5. 対応手順 (対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。)

2  
4  
時  
間  
以  
上  
前  
より  
注  
意  
フ  
ェ  
ー  
ズ  
に  
入  
る

①行動開始の基準

台風基準	気象庁警報で非常に強い台風もしくは、超大型台風が襲来する場合
警戒レベル基準	警戒レベル2

②情報収集

1	近隣の状況 (安全な場所から、河川や崖の表面の様子を観察)
2	気象情報 (台風進路・各種気象警報)
3	河川等氾濫情報
4	行政動向 (防災無線情報等)
5	道路・交通機関情報
6	その他ライフライン情報
7	業務状況確認 (施工現場状況・現場の安全確保作業進捗等)
8	

人事部

③ 対応方針の決定

交通状況	国道〇〇号の事前通行規制状況、 〇〇鉄道〇〇線の運行予定確認
帰宅方針	原則として帰宅、自宅待機

② 帰宅指示

帰宅指示 タイミング	警戒レベルが4になる恐れがある場合、 崖崩れの恐れがある場合、混雑・渋滞・ 鉄道の計画運休が発生する恐れがある 場合、には帰宅指示を行う。
---------------	--

総務部・建設部

③ 帰宅後の業務方針の基本的な連絡方法

一斉メール・連絡網を利用し、台風通過後に適切なタイミングで 出社指示を行う。	
---	--

④ 出社時間帯の場合の出社方針

出社方針	自宅待機とする。
------	----------

⑤ 残留者に関する方針

残留の 基本方針	残留は許可しない。帰宅指示が遅れ帰 宅できない場合のみ残留。
-------------	-----------------------------------

① 水防設備の設置場所、土嚢積み上げの場所の確認

水防設備	1F 出入口止水板、B1F 防水扉	土嚢を積み場所	B1F 地下駐車場入り口
------	-------------------	---------	--------------

③ 重要経営資源の計画的停止・退避 ※以下の経営資源を、暴風圏内に入る前に保全する。

施工現場	養生シートを撤去(or足場に巻き付ける)。 資材や表示物、看板等を撤去。	書類等	〇〇台帳、工事図面、〇〇業務の作業標 準書、契約書、通帳、印鑑、保険証券
------	---	-----	---

24時間以内 初動対応フェーズ 到来直後から	①帰宅指示後は以下の手順で対応する。	③備蓄品の状況 ※飲料水（一人1日3リットル）と食料は最低3日分、できれば7日分を準備しましょう。
	統括責任者 本社機能維持担当 <メンバー> ・人事部〇〇部長 ・総務部〇〇部長 ・情報システム部 長	品名 数量 品名 数量 品名 数量 品名 数量 土嚢 30袋 投光機 1台 マスク 150個 救助用工具 3セット 雨合羽 20着 非常用発電機 1基 高圧洗浄機 3台 トイレトペーパー 50個 乾電池 20本 水囊 30袋 ブルーシート 5枚 防水シート 5枚 飲料水※ 300本 安全長靴 20足 カラーコーン 4本 軍手 50個 救急箱 3箱 携帯ラジオ 3台 排水用ポンプ 3機 土砂運搬用一輪車(台車) 10台 救命胴衣 20着 食料※ 450食 コンバックス 3個 ペンヤ板 5枚 ヘルメット 50個 簡易トイレ 600回分 止水板 5枚 バケツ 10個 シャベル 5本 救命ボート 5艇 懐中電灯 20台 ジャッキ 1台 トラロープ 3巻 防水テープ 10個 毛布 50枚 パレット 20個 ガードバー 4個 バッテリー 1台
	②救助・負傷者対応 救助・応急処置、 道具の所在 総務部キャビネット3番 救急搬送先① 〇〇総合病院 (TEL: 123-4444) 救急搬送先② 〇〇第一病院 (TEL: 123-5555)	④ 帰宅指示が遅れた場合の残留者待機場所 残留者待機場所 事務棟4階(想定浸水深以上の高さの高層階から動かない)
	①重要業務の継続	
3事業継続フェーズ	対応戦略 必要に応じ被災地域外の協力会社等の協力を得て、災害復旧活動を展開する	資源の脆弱性(ボトルネック) 人員・資材・建設機械等の確保(自社が保有している資源だけでは要請への対応が困難)
	対応手順 対策本部 インフラ復旧工事 施工中現場 元施工物件	
	情報収集 行政機関からの要請内容を整理し、会社としての優先順位付けをして工事部門に指示する。 社内および協力会社の稼働可能な人員、資材(在庫)、機材を確認する	現場従業員から被害状況を確認する。休日夜間の場合には近隣の従業員または協力会社との連携により速やかに情報収集を行う 元施工物件リストに基づき被災情報を収集する
対応 不足する資機材の確保、道路占有等の特別許可に関して行政に支援を要請する 元施工物件の対応の優先順位付けを行い、指示する	インフラ管理者と協議の上、被害状況の調査と診断を実施し、対策を講じる	施工中物件に被害が生じている場合には、必要な二次災害防止策を講じる。倒壊等の恐れがあり避難が必要な場合は、周辺住民等に状況を説明し、速やかに避難誘導を実施する 周辺被害が甚大な場合には、当面の施工中止等について施主と打合せを行う
	被害が生じている物件については顧客と協議の上点検を実施し、二次災害防止措置を講じる 災害対策本部からの指示に基づき、顧客と復旧工事費の無償・有償を協議した上で復旧作業を実施する	

## 6. 事前準備

①警戒・注意フェーズ、②初動対応フェーズ	チェック	できていない場合	③事業継続フェーズ	チェック	できていない場合
行政のハザードマップを確認	✓	まだに対応する	「顧客リスト」の整備	✓	まだに対応する
「警戒レベル」を理解	✓	まだに対応する	「取引先等リスト」の整備	✓	まだに対応する
社内連絡網の整備		20XX年XX月末までに対応する	災害協定締結先の確認と要請事項の整理		20XX年XX月末までに対応する
備蓄品の増強		20XX年XX月末までに対応する	災害時に必要となる人員・資材・建設機械を把握し、代替調達先を検討		20XX年XX月末までに対応する
水防設備の増強		20XX年XX月末までに対応する	行政との連絡窓口担当者を選定、あらかじめ必要な対応を申請書類を確認		20XX年XX月末までに対応する
		まだに対応する	施工中物件の地域の商工会や協力会社と意見交換を実施		20XX年XX月末までに対応する
		まだに対応する	〇〇損害保険の水災担保特約を契約		20XX年XX月末までに対応する



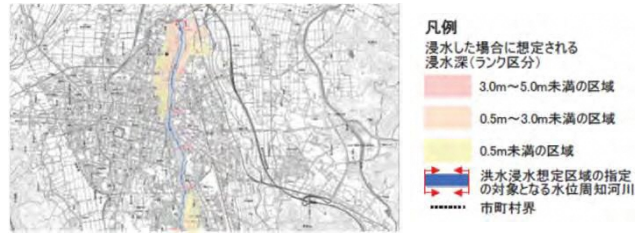
(解説)初めてでも簡単！ B C P 策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

## I. 本社・事業所の被害想定

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	近隣河川名	計画規模降雨時の浸水深(注1)	想定最大規模降雨時の浸水深(注1)	土砂災害危険区域等(注2)
1	本社	〇〇本社	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇ビル〇階	〇〇小学校	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
2	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇4-5-6〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	
3	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
4	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
5	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	✓
6	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	
7	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	✓

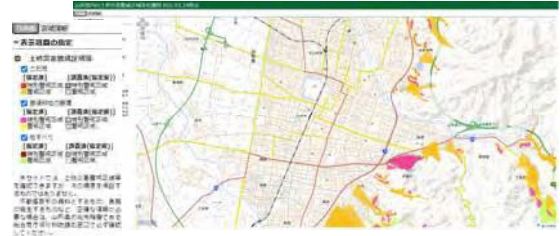
### 注1：洪水災害リスクを調べる。

- 山形県の洪水浸水想定区域にアクセスする。  
<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180006/publicfolder201004278587559221/sinsuisoutei-souteisaidaikibo.html>
- 各拠点の近隣河川の図面を選択し、計画規模降雨時の浸水深、想定最大規模降雨時の浸水深を確認し、上表に記載する。



### 注2：土砂災害危険区域等を調べる。

- 山形県土砂災害警戒システムにアクセスする。  
[https://sabo.pref.yamagata.jp/pc/\(S\(icncd04e5jtzacnevkbptlbt\)\)/MapForm.aspx?m=8](https://sabo.pref.yamagata.jp/pc/(S(icncd04e5jtzacnevkbptlbt))/MapForm.aspx?m=8)
- 地図上で各拠点を表示する。
- 何かしらの区域に該当している場合、上表にチェックを付ける。



## II. 参考情報

### 1. 河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）について

市区町村が出す警戒レベルで確実に避難しましょう。  
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報		名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報	
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	5 相繼 氾濫発生情報 大雨特別警報（土砂災害）
4	危険な場所から全員避難	避難勧告（避難指示（緊急））	4 相繼 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始	3 相繼 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相繼 氾濫注意情報
1	最新情報に注意	早期注意情報	1 相繼

出典：内閣府防災情報のページ：  
[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30\\_hinankankoku\\_guideline/pdf/keikai\\_level\\_chiras\\_hi.pdf](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/keikai_level_chiras_hi.pdf)

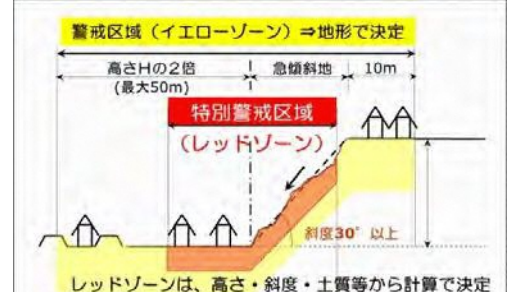
### 2. 洪水災害リスクについて

- 「地点別浸水シミュレーション検索システム」（浸水ナビ）では、浸水想定区域図を電子地図上に表示することができます。  
<http://suiboumap.gsi.go.jp/>
- 浸水ナビで確認できること：  
(1) 河川の想定破壊点 (2) 浸水想定の変化  
(3) 浸水深、浸水到達時間、浸水継続時間  
(4) 河川のリアルタイム水位情報  
(5) 3D表示による地形と浸水の関係



### 3. 土砂災害リスクについて

土砂災害の分類	特徴	土砂災害危険箇所	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害の分類	特徴	特徴	特徴	特徴
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	土砂災害危険箇所	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
主な前兆現象	がけにひび割れができる。小石がバラバラと落ちてくる。がけから水が湧き出る湧き水が止まる。濁る。地鳴りがする	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所の被害想定区域	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	急傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域 急傾斜地の下端から水平距離が10m以内の区域 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50m）を超える場合は50m以内の区域	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域（土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命または身体に著しい危害を生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域）	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）



出典：政府広報オンライン：  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html>  
東京都建設局：  
[https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jiogyo/river/dosha\\_saigai/map/kasenbu0087.html](https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jiogyo/river/dosha_saigai/map/kasenbu0087.html)

警戒区域・特別警戒区域の指定範囲（急傾斜地の崩壊の場合）